

医療界における2025年

東京の地域医療構想について

2025年1月14日定例記者会見
東京都医師会 土谷明男



2025年は地域医療構想の目標年

団塊の世代が後期高齢者（75歳以上）となる年

地域医療構想の目指すもの

□ 病床の機能分化・数の調整

□ 医療連携の推進

東京都の地域医療構想

令和6年度第2回 1月10日から2月14日まで各圏域で開催

令和6年度 第2回東京都地域医療構想調整会議（区西南部） 会 議 次 第

日時：令和7年1月10日（金曜日）
午後6時00分～7時30分

会場：Web会議形式にて開催

1 開 会

2 報告事項

- （1）在宅療養ワーキンググループの開催について
- （2）外来医療計画に関連する手続きの提出状況について
- （3）新たな地域医療構想について

3 議 事

- （1）地域医療支援病院の承認申請について（協議）
- （2）紹介受診重点医療機関について（協議）
- （3）2025年に向けた対応方針について（協議）
- （4）地域連携の推進に向けて（意見交換）

4 閉 会

東京都の地域医療構想

令和6年度第2回 1月10日から2月14日まで各圏域で開催

③ 意見交換「地域連携の推進について」

「地区診断」に関するデータと事前アンケート結果を踏まえ、

- ✓ 各区域の医療の状況やニーズに合った医療提供体制の構築に向け
「地区診断」を行い、地域の連携を推進
- ✓ 今回は今後更なる増加が見込まれる高齢患者に多い疾患の地域のデータや医療機関連携の状況を用意

高齢患者の受入れについて、現状や課題、今後の取組に関して意見交換をお願いしたい。

【意見交換のための参考資料】

① 「地区診断」のための 関連データ

国の研修会で示された構想区域ごとの「地区診断」のための関連データ
(DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」)
⇒ 参考資料6：「地区診断」のための関連データ

② 都内全病院への 事前アンケート結果

地域の医療提供体制上の連携等に関する影響や対応している取組について、
事前にアンケートを実施
⇒ 資料8-3：地域連携の推進に向けた事前アンケートの回答
参考資料7：事前アンケート内容

3

東京都内においても
地域ごとに今後の運命が異なる

東京都の地域医療構想（振り返って）

□医療機関のマインドセット

✓ 「やりたい医療」から「求められる医療」へ

新たな地域医療構想



公益
社団法人 東京都医師会

新たな地域医療構想

新たな地域医療構想

(1) 基本的な考え方

- 2040年に向け、外来・在宅、介護との連携、人材確保等も含めた
あるべき医療提供体制の実現に資するよう策定・推進
(将来のビジョン等、病床だけでなく医療機関機能に着目した機能分化・連携等)
- 新たな構想は27年度から順次開始
(25年度に国でガイドライン作成、26年度に都道府県で体制全体の方向性や必要病床数の推計等、28年度までに医療機関機能に着目した協議等)
- 新たな構想を医療計画の上位概念に位置付け、医療計画は新たな構想に即して具体的な取組を進める

新たな地域医療構想

(2) 病床機能・医療機関機能

① 病床機能

- これまでの「回復期機能」について、その内容に「高齢者等の急性期患者への医療提供機能」を追加し、「包括期機能」として位置づけ

② 医療機関機能報告（医療機関から都道府県への報告）

- 構想区域ごと(高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能、急性期拠点機能、専門等機能)、広域な観点(医育及び広域診療機能)で確保すべき機能や今後の方向性等を報告

③ 構想区域・協議の場

- 必要に応じて広域な観点での区域や在宅医療等のより狭い区域で協議（議題に応じ関係者が参画し効率的・実効的に協議）

東京の医療の大きな課題

2040年を見据えて
医療の需要と供給のアンバランス



公益
社団法人 東京都医師会

東京の医療の大きな課題

将来の需要と供給のアンバランス

□医療需要は増加する見込み

□医療従事者は増加するか？

✓医師の働き方改革

✓医師の偏在対策

✓他業種の給与水準の上昇

✓医療機関の経営状況

まとめ

□地域医療構想の振り返り

- ✓ 地域から求められる医療へ

□新たな地域医療構想

- ✓ 2040年に向けて

□東京の医療の大きな課題

- ✓ 将来の需要と供給のアンバランス